

令和4年8月17日

南の風アカツキジャパン女子日本代表特集号Ⅱ

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

前号の続きです。

恩塚 HC のコメントの中の『即興力』とは、あらかじめ準備したムーブメントではなく、ゲーム展開中で形にとらわれず、自分の意志と判断で作り上げるプレーのことをいいます。一人ひとり一瞬の適応力が求められます。

『最適解』とはゲーム中のカオス状態で、最もその場に相応しいプレーをチョイスすることです。例えばオフェンスで流れが悪く、3P シュートが続けて落ち得点が止まった状態のときに、ペイントアタックを入れて中を突いて打開し、オフェンスリバウンドも活性化させるようなムーブメントです。そして周りのプレーヤーは、瞬時にボールマンの動きに『シンクロ』するようにします。

一方ディフェンスでは、東京五輪から継続している簡単にボールをキャリアさせないプレッシャーディフェンス(マンツーマン&ゾーンプレスの併用)をメインに考えているようです。ブリッツを仕掛けるタイミングや場所と、パスカットやローテーションの動きが重要になります。

女子ワールドカップの日程、「10日間で8試合」を考えた時、恩塚 HC は次のようにもコメントしています。

「戦略とは戦いを略くこと=無用な戦いをしない、時間とエネルギーの効率的な使い方が必要」 → この考えは当然、10日間で8試合という過密日程を睨んでのことです。

女子日本代表のディフェンスの生命線は、プレッシャーディフェンスですから、1試合通して継続するためには、タイムシェアは絶対欠かせません。12人のメンバーの誰がコートに立っても、プレッシャーディフェンスのパフォーマンスが落ちることなく継続できなければなりません。後半まで体力を維持し、タイムシェアしてプレッシャーを掛け続けることで、相手の体力を削り後半一気に勝負をかける戦略だと思います。

ここでワールドカップの試合日程を紹介しておきます。 ※開催地=オーストラリア シドニー

《2022FIBA 女子ワールドカップ日程》 <9月22日(木)~10月1日(土)>

☆グループラウンド Bブロック

9月22日(木)	日本代表 VS マリ	FIBA ランキング 37位
9月23日(金)	日本代表 VS セルビア	FIBA ランキング 10位
9月25日(日)	日本代表 VS カナダ	FIBA ランキング 4位
9月26日(月)	日本代表 VS フランス	FIBA ランキング 6位
9月27日(火)	日本代表 VS オーストラリア	FIBA ランキング 3位

☆決勝ラウンド

9月29日(木)	準々決勝
9月30日(金)	準決勝
10月1日(土)	決勝

以上です。次号に続きます。